

## 令和3年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童を対象に4月に実施されたもの)

### 1 学力調査に関する結果の概要

#### 【国 語】

- 思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うことができている。
- 目的や意図に応じ、資料を使って話すことができている。
- 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することに課題がある。
- 目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けることに課題がある。

#### 【算 数】

- グラフから、数量や項目間の関係を読み取ることができている。
- 集団の特徴を捉えるために、集めるべきデータを判断することができている。
- 図形を構成する要素等に着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方について式や言葉を用いて記述することに課題がある。

### 2 児童（生徒）質問紙に関する結果の概要

- 人の役に立つ人間になろうという規範意識が身に付いている。
- ICTの使用頻度が高く、使い方に慣れている。
- 毎朝朝食を食べたり自分で計画を立てて家庭学習したりする習慣づくりに課題がある。
- 算数に対する関心等は高いが、国語に対する関心等が低い傾向にある。

### 3 取組についての評価

#### (1) 教科に関する取組

##### ① 効果があった取組

- ・国語、算数における基礎的な内容を復習する朝タイムの実施
- ・国語、算数で定着が不十分だった内容の重点指導
- ・指導方法工夫改善教員を中心とした授業改善の推進
- ・担任外教員による支援体制の構築

##### ② 今後の学力向上に向けた取組

- ・条件に合わせて書く活動や発展的な問題を取り扱うチャレンジタイムの実施
- ・理解したことを図や絵、言葉で表現させる授業づくりの推進

#### (2) 児童（生徒）質問紙の内容に関する取組

##### ① 効果があった取組

- ・児童の活動に対して全校で評価する取組（児童会活動、English day、ノート名人等）
- ・教師間でのICTを活用した授業づくりに関する情報の共有

##### ② 今後の学力向上に向けた取組

- ・学年に応じて、家庭学習の時間の目標を立てさせて取り組む家庭学習チャレンジの実施
- ・全児童による本の紹介等の読書活動推進の取組